

医業 経営 情報

REPORT

Available Information Report for
Medical Management

医業経営

2021年
決算データからみる

医科診療所 経営実績分析

- 1 2021年 経営実績とその傾向
- 2 2021年 収入上位診療所の経営実績
- 3 2021年 診療科目別経営実績
- 4 2021年 医療法人経営指標分析結果

税理士法人 YGP鯨井会計

2022
4
APR

1 | 2021年 経営実績とその傾向

1 | 2021年経営実績の概要

経営実数分析は、2021年の決算書に基づいて実数値から経営状況を把握することを目的としています。抽出したデータは、2022年3月までに決算を終えた無床診療所326件（医療法人215件、個人開業111件）の主要科目について、平均値を算出しています。なお、医療法人のデータについては役員報酬を除外、個人データについては専従者給与を同じく除外しています。2021年度は、新型コロナの影響による受診控えが落ち着き、全体的にはわずかなではありますが、増収傾向となりました。

■2021年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2020年	2021年	前年対比
I 医業収入	111,855	114,916	102.7%
1. 保険診療収入	95,698	96,878	101.2%
2. 保険外診療収入	14,893	16,449	110.4%
3. その他の医業収入	1,264	1,589	125.7%
II 変動費	21,435	22,513	105.0%
医薬品・診療材料費	18,186	18,397	101.2%
検査委託費	3,249	4,116	126.7%
III 限界利益	90,420	92,403	102.2%
IV 医業費用	46,332	46,345	100.0%
1. 人件費	28,122	28,199	100.3%
2. その他固定費	18,210	18,146	99.6%
減価償却費	5,019	5,051	100.6%
地代・家賃	6,654	6,512	97.9%
研究研修費	250	207	82.8%
保険料	2,925	2,757	94.3%
接待交際費	960	821	85.5%
その他経費	2,402	2,798	116.5%
V 医業利益	44,088	46,058	104.5%

2 | 全体動向と利益の傾向

(1)全体動向

2021年における医科診療所の経営実績は、2020年と比較して増収増益となりました。

今回の調査では、黒字診療所は全体の72.1%を占めています。医業収入は2.7%、うち保険診療収入は1.2%の増加で、変動費は5.0%の増加となりました。限界利益は2.2%の増加で、医業費用はほぼ横ばいとなり、医業利益は4.5%の増加となりました。

◆医業収入・費用等全体の傾向

●医業収入

前年対比2.7%増加し、金額にして3,061千円の増収となりました。保険診療収入、保険外診療収入及びその他の医業収入は全て増加しています。

●変動費

変動費は前年対比で5.0%の増加となりました。内訳を見ると、医薬品・診療材料費は前年対比1.2%増加し、検査委託費が26.7%の増加となりました。

●医業費用

医業費用は前年対比ほぼ横ばいとなり、役員報酬と専従者給与を除いた人件費が0.3%増加しています。その他固定費は、前年対比0.4%の減少となりました。

●医業利益

2021年の平均医業利益は46,058千円で、前年対比4.5%、金額にして1,970千円の増加という結果でした。

(2)利益状況

限界利益は前年対比2.2%の増加、医業利益は4.5%の増加となりました。

■限界利益・医業利益

(単位：千円)

	2020年	2021年	前年対比
限界利益	90,420	92,403	102.2%
医業利益	44,088	46,058	104.5%

3 | 医業収入の傾向

医業収入の実績は、下記のとおりです。医業収入合計では前年対比102.7%で、増加しました。うち保険診療収入は同1.2%の増加、保険外診療収入は同10.4%の増加、その他医業収入は同25.7%の増加となりました。

■医業収入

(単位：千円)

	2020年	2021年	前年対比
医業収入合計	111,855	114,916	102.7%
保険診療収入	95,698	96,878	101.2%
保険外診療収入	14,893	16,449	110.4%
その他医業収入	1,264	1,589	125.7%

■医業収入分析

金額で見ると、保険診療収入は1,180千円の増加、保険外診療収入は1,556千円の増加、その他の医業収入も325千円の増加となっています。

4 | 医業費用の傾向

(1) 医業費用前年対比較

医業費用の実績は、下記のとおりです。変動費合計は前年対比で5.0%の増加、人件費については同0.3%増加しました。その他固定費は0.4%の減少となりました。なお、人件費には、役員報酬及び専従者給与は含まれておりません。それぞれ個別に集計し、参考データとして掲載しました。役員報酬の母数は199件、専従者給与の母数は108件です。

① 変動費（医薬品・診療材料費・検査委託費） （単位：千円）

	2020年	2021年	前年対比
変動費合計	21,435	22,513	105.0%
変動費率	19.2%	19.6%	0.4%
医薬品・診療材料費	18,186	18,397	101.2%
検査委託費	3,249	4,116	126.7%

② 人件費 （単位：千円）

	2020年	2021年	前年対比
人件費合計	28,122	28,199	100.3%
（参考）役員報酬	38,042	36,128	95.0%
（参考）専従者給与	2,207	2,395	108.5%

③ その他固定費 （単位：千円）

	2020年	2021年	前年対比
その他固定費合計	18,210	18,146	99.6%
減価償却費	5,019	5,051	100.6%
地代・家賃	6,654	6,512	97.9%
研究研修費	250	207	82.8%
保険料	2,925	2,757	94.3%
接待交際費	960	821	85.5%
その他経費	2,402	2,798	116.5%

(2) 医業費用の傾向

● 変動費

2021年平均で22,513千円となり、前年と比較すると5.0%の増加となっています。医薬品・診療材料費が前年対比1.2%、検査委託費が同26.7%の増加、変動費率は0.4%の増加となっています。

● 人件費

2021年平均で28,199千円、前年対比0.3%の増加となっています。役員報酬は2021年平均で36,128千円、専従者給与は2,395千円となっています。

● その他固定費

2021年平均で18,146千円となりました。前年対比で0.4%の減少、金額で64千円の減少となりました。

2 | 2021年 収入上位診療所の経営実績

1 | 収入上位診療所の経営実績の概要

第1章で分析した無床診療所326件（医療法人215件、個人開業111件）の決算書より、医療収入上位20%を抽出し、経営データを集計しました。分析の分母は59件で、その内訳は医療法人49件、個人開業10件です。なお本分析では人件費から役員報酬と専従者給与は除いています。

■2021年 収入上位診療所比較要約変動損益計算書 (単位：千円)

	2020年	2021年	前年対比
I 医療収入	239,445	251,696	105.1%
1. 保険診療収入	200,713	207,684	103.5%
2. 保険外診療収入	37,222	42,373	113.8%
3. その他の医療収入	1,510	1,639	108.5%
II 変動費	59,701	64,767	108.5%
1. 医薬品・診療材料費	52,235	54,928	105.2%
2. 検査委託費	7,466	9,839	131.8%
III 限界利益	179,744	186,929	104.0%
IV 医療費用	112,939	114,938	101.8%
1. 人件費	62,642	61,377	98.0%
2. その他固定費	50,297	53,561	106.5%
減価償却費	9,757	9,874	101.2%
地代・家賃	10,963	10,575	96.5%
研究研修費	453	372	82.1%
保険料	6,023	5,701	94.7%
接待交際費	1,760	1,700	96.6%
その他経費	21,341	25,339	118.7%
V 医療利益	66,804	71,991	107.8%

2 | 収益性の傾向

収入上位診療所の2021年経営実績は、増収ではありましたが、収益はほぼ横ばいでした。収入上位診療所の黒字診療所の割合は74.6%で、全体での72.1%という数値と比べ、黒字割合が高い結果となりました。

医業収入は全診療所データでは前年対比2.7%の増収でしたが、収入上位診療所では同5.1%の増加となっています。内訳を見ると、保険診療収入が同3.5%の増加、保険外診療収入は13.8%の増加、その他の医業収入は前年対比で8.5%の増加となっています。

変動費は前年対比8.5%の増加、限界利益は同4.0%の増加となりました。医業費用は、人件費が2.0%の減少となっており、その他固定費は同6.5%の増加でした。

■限界利益・医業利益

(単位：千円)

	2020年	2021年	前年対比
限界利益	179,744	186,929	104.0%
医業利益	66,804	71,991	107.8%

●限界利益は前年対比4.0%増加し、金額にして7,185千円の増収

内訳をみると、保険診療収入が前年対比3.5%の増加、保険外診療収入は同13.8%の増加、その他の医業収入は同8.5%の増加となりました。

●変動費は、前年対比8.5%増加し、金額では5,066千円の増加

内訳をみると、医薬品・診療材料費は、前年対比5.2%の増加となり、検査委託費は同31.8%の増加となりました。

●医業費用は前年対比1.8%増加し、金額では1,999千円の増加

その内訳では、人件費が前年対比2.0%の減少で、金額にして1,265千円の減少、その他固定費は同6.5%、金額にして3,264千円の増加となりました。

●医業利益は前年対比7.8%の増加、金額にして5,187千円の増加となりました。

3 | 医業収入の傾向

(1) 医業収入前年対比較

(単位：千円)

	2020年	2021年	前年対比
医業収入合計	239,445	251,696	105.1%
保険診療収入	200,713	207,684	103.5%
保険外診療収入	37,222	42,373	113.8%
その他医業収入	1,510	1,639	108.5%

(2) 医業収入分析 (医業収入上位20%)

●医業収入は251,696千円で、前年対比5.1%の増加、12,251千円の増収となりました。

●医業収入の内訳は、保険診療収入が207,684千円で前年対比3.5%の増加、保険外診療収入は42,373千円で同13.8%の増加、その他医業収入は1,639千円で同8.5%の増加となっています。

4 | 医業費用の傾向

(1) 医業費用前年対比較

医業費用の実績は下記のとおりです。変動費合計は前年対比8.5%の増加となり、人件費は同2.0%減少し、その他固定費は同6.5%の増加となっています。なお、人件費の取り扱いには前述の通りで、役員報酬の母数は49件、専従者給与の母数は34件となります。

① 変動費（医薬品・診療材料費・検査委託費） （単位：千円）

	2020年	2021年	前年対比
変動費合計	59,701	64,767	108.5%
変動費率	24.9%	25.7%	0.8%
医薬品・診療材料	52,235	54,928	105.2%
検査委託費	7,466	9,839	131.8%

② 人件費・役員報酬 （単位：千円）

	2020年	2021年	前年対比
人件費合計	62,642	61,377	98.0%
（参考）役員報酬	50,254	49,462	98.4%
（参考）専従者給与	1,869	2,023	108.2%

③ その他医業費用 （単位：千円）

	2020年	2021年	前年対比
その他固定費合計	50,297	53,561	106.5%
減価償却費	9,757	9,874	101.2%
地代・家賃	10,963	10,575	96.5%
研究研修費	453	372	82.1%
保険料	6,023	5,701	94.7%
接待交際費	1,760	1,700	96.6%
その他経費	21,341	25,339	118.7%

(2) 医業費用の傾向

● 変動費

2021年収入上位平均は64,767千円で、前年対比8.5%の増加となりました。

医薬品・診療材料費は54,928千円で、前年対比5.2%の増加、検査委託費は9,839千円で、前年対比31.8%の増加となりました。

● 人件費

2021年収入上位平均は61,377千円（役員報酬を除く）で、前年対比2.0%の減少となりました。役員報酬の平均は49,462千円で、前年対比1.6%の減少となっています。また、専従者給与の平均は2,023千円で、前年対比8.2%の増加となっています。

● その他固定費

その他固定費の平均は53,561千円で、前年対比6.5%の増加となりました。

3 | 2021年 診療科目別経営実績

1 | 診療科目別経営実績の概要

本分析で抽出したデータは、無床診療所326件（医療法人215件、個人開業111件）の決算データから診療科目別に抽出し、各診療科目別の平均値を算出しています。

なお、抽出した診療科目は、内科、小児科、心療内科、整形外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、眼科、産婦人科で、第1章のデータ同様、人件費から役員報酬と専従者給与は除いていません。また、参考として、各診療科目上位20%のデータを記載しています。

■各データのサンプル数

●内科	129件	（医療法人	85件、個人開業	44件）
●小児科	32件	（医療法人	22件、個人開業	10件）
●心療内科	9件	（医療法人	3件、個人開業	6件）
●整形外科	27件	（医療法人	19件、個人開業	8件）
●皮膚科	32件	（医療法人	20件、個人開業	12件）
●耳鼻咽喉科	27件	（医療法人	16件、個人開業	11件）
●眼科	18件	（医療法人	15件、個人開業	3件）
●産婦人科	6件	（医療法人	3件、個人開業	3件）

注) 上表の診療科に該当しない診療所もあり、無床診療所数とサンプル数は一致しない

個別データは、次ページ以降に紹介しています。診療科目別に集計した主要科目別数値は下記のとおりです。

■2021年 診療科目別主要データ

（単位：千円）

	内科	小児科	心療内科	整形外科	皮膚科	耳鼻咽喉科	眼科	産婦人科
医業収入	110,188	106,604	65,474	126,503	110,665	78,137	151,795	269,531
変動費	20,731	32,694	10,683	16,347	22,773	5,306	31,812	77,181
限界利益	89,457	73,910	54,791	110,156	87,892	72,831	119,983	192,350
医業費用	42,823	34,565	20,829	65,431	45,923	36,037	66,357	123,494
うち人件費	25,330	21,028	9,939	41,557	30,123	20,494	35,070	67,078
医業利益	46,634	39,345	33,962	44,725	41,969	36,794	53,626	68,856
参考： 役員報酬	33,514	29,510	13,000	34,564	30,396	25,717	45,708	33,282

2 | 診療科目別経営実績結果

(1)内科診療所

内科等を標榜している診療所の集計データの内訳は、一般内科123件、循環器内科2件、消化器内科2件、その他2件の計129件です。

内科診療所は増収増益を示し、医業収入は前年より増加しています。変動費は前年対比7.3%の増加、医業費用は同2.1%の増加となりました。結果として医業利益は46,634千円で同5.2%の増加となりました。

なお、母数85件による役員報酬は、2021年平均で33,514千円となっています。

■2021年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2020年	2021年		
		内科全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	105,601	110,188	104.3%	238,448
1. 保険診療収入	92,595	93,951	101.5%	200,617
2. 保険外診療収入	11,714	14,414	123.0%	36,378
3. その他の医業収入	1,292	1,823	141.1%	1,453
II 変動費	19,326	20,731	107.3%	54,931
1. 医薬品・診療材料費	14,864	14,551	97.9%	40,283
2. 検査委託費	4,462	6,180	138.5%	14,648
III 限界利益	86,275	89,457	103.7%	183,517
IV 医業費用	41,938	42,823	102.1%	94,232
1. 人件費	24,414	25,330	103.8%	55,567
2. その他固定費	17,524	17,493	99.8%	38,665
減価償却費	4,779	4,922	103.0%	9,694
地代・家賃	5,995	5,858	97.7%	8,675
研究研修費	241	187	77.6%	360
保険料	3,177	3,027	95.3%	5,989
接待交際費	880	769	87.4%	1,488
その他経費	2,452	2,730	111.3%	12,459
V 医業利益	44,337	46,634	105.2%	89,285

(2)小児科診療所

小児科診療所は増収増益を示し、医業収入は106,604千円で、前年対比5.5%の増加となっています。変動費は同6.1%の増加、医業費用は同7.6%の減少となりました。結果として医業利益は39,345千円となり、同19.8%の増加となりました。

なお、母数22件による役員報酬は、2021年平均で29,510千円となっています。

■2021年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2020年	2021年		
		小児科全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	101,055	106,604	105.5%	207,638
1. 保険診療収入	60,436	62,787	103.9%	112,178
2. 保険外診療収入	37,676	40,161	106.6%	94,845
3. その他の医業収入	2,943	3,656	124.2%	615
II 変動費	30,807	32,694	106.1%	80,858
1. 医薬品・診療材料費	29,582	30,755	104.0%	77,150
2. 検査委託費	1,225	1,939	158.3%	3,708
III 限界利益	70,248	73,910	105.2%	126,780
IV 医業費用	37,416	34,565	92.4%	66,119
1. 人件費	23,786	21,028	88.4%	32,351
2. その他固定費	13,630	13,537	99.3%	33,768
減価償却費	2,816	2,993	106.3%	5,353
地代・家賃	5,497	5,409	98.4%	6,634
研究研修費	207	136	65.7%	234
保険料	2,399	2,397	99.9%	2,075
接待交際費	657	737	112.2%	1,851
その他経費	2,054	1,865	90.8%	17,621
V 医業利益	32,832	39,345	119.8%	60,661

(3)心療内科診療所

心療内科診療所は減収増益を示し、医業収入は65,474千円で、前年対比3.8%の減少となっています。変動費は同2.9%の減少、医業費用は同13.0%の減少となりました。結果として医業利益は33,962千円で同2.6%の増加となりました。

なお、母数3件による役員報酬は、2021年平均で13,000千円となっています。

■2021年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2020年	2021年		
		心療内科全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	68,048	65,474	96.2%	163,797
1. 保険診療収入	64,092	61,488	95.9%	161,570
2. 保険外診療収入	3,552	3,535	99.5%	904
3. その他の医業収入	404	451	111.6%	1,323
II 変動費	10,998	10,683	97.1%	81,852
1. 医薬品・診療材料費	10,603	10,280	97.0%	81,553
2. 検査委託費	395	403	102.0%	299
III 限界利益	57,050	54,791	96.0%	81,945
IV 医業費用	23,942	20,829	87.0%	33,775
1. 人件費	10,957	9,939	90.7%	5,741
2. その他固定費	12,985	10,890	83.9%	28,034
減価償却費	1,875	2,044	109.0%	4,142
地代・家賃	4,959	4,957	100.0%	3,319
研究研修費	155	131	84.5%	568
保険料	1,567	1,445	92.2%	9,334
接待交際費	476	355	74.6%	889
その他経費	3,953	1,958	49.5%	9,782
V 医業利益	33,108	33,962	102.6%	48,170

(4) 整形外科診療所

整形外科診療所は増収増益を示し、医業収入は126,503千円で、前年対比1.0%の増加となっています。変動費は同1.8%の増加、医業費用は同1.6%の減少となりました。結果として医業利益は44,725千円で同4.9%の増加となりました。

なお、母数19件による役員報酬は、2021年平均で34,564千円となっています。

■2021年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2020年	2021年		
		整形外科全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	125,226	126,503	101.0%	254,395
1. 保険診療収入	113,842	114,314	100.4%	239,440
2. 保険外診療収入	10,840	11,526	106.3%	14,097
3. その他の医業収入	544	663	121.9%	858
II 変動費	16,061	16,347	101.8%	38,741
1. 医薬品・診療材料費	13,992	14,147	101.1%	32,707
2. 検査委託費	2,069	2,200	106.3%	6,034
III 限界利益	109,165	110,156	100.9%	215,654
IV 医業費用	66,521	65,431	98.4%	147,114
1. 人件費	41,740	41,557	99.6%	80,967
2. その他固定費	24,781	23,874	96.3%	66,147
減価償却費	6,537	6,501	99.4%	11,123
地代・家賃	7,568	7,227	95.5%	11,525
研究研修費	212	170	80.2%	302
保険料	2,952	2,719	92.1%	6,373
接待交際費	1,190	792	66.6%	1,375
その他経費	6,322	6,465	102.3%	35,449
V 医業利益	42,644	44,725	104.9%	68,540

(5)皮膚科診療所

皮膚科診療所は増収増益を示し、医業収入は110,665千円で、前年対比2.2%の増加となっています。変動費は同6.4%の増加、医業費用は同2.0%の減少となりました。結果として医業利益は41,969千円で同4.8%の増加となりました。

なお、母数20件による役員報酬は、2021年平均で30,396千円となっています。

■2021年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2020年	2021年		
		皮膚科全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	108,311	110,665	102.2%	258,493
1. 保険診療収入	95,374	97,580	102.3%	217,351
2. 保険外診療収入	11,256	11,419	101.4%	36,103
3. その他の医業収入	1,681	1,666	99.1%	5,039
II 変動費	21,411	22,773	106.4%	94,562
1. 医薬品・診療材料費	20,090	21,377	106.4%	91,797
2. 検査委託費	1,321	1,396	105.7%	2,765
III 限界利益	86,900	87,892	101.1%	163,931
IV 医業費用	46,849	45,923	98.0%	105,750
1. 人件費	30,403	30,123	99.1%	59,567
2. その他固定費	16,446	15,800	96.1%	46,183
減価償却費	3,869	3,985	103.0%	6,369
地代・家賃	6,525	6,549	100.4%	11,895
研究研修費	169	195	115.4%	124
保険料	2,371	2,216	93.5%	3,966
接待交際費	1,021	891	87.3%	2,103
その他経費	2,491	1,964	78.8%	21,726
V 医業利益	40,051	41,969	104.8%	58,181

(6)耳鼻咽喉科診療所

耳鼻咽喉科診療所は増収減益を示し、医業収入は78,137千円で、前年対比1.0%の増加となっています。変動費は同5.0%の増加、医業費用は同4.2%の増加となりました。結果として医業利益は36,794千円で同2.4%の減少となりました。

なお、母数16件による役員報酬は、2021年平均で25,717千円となっています。

■2021年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2020年	2021年		
		耳鼻咽喉科全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	77,329	78,137	101.0%	174,524
1. 保険診療収入	75,833	76,542	100.9%	172,713
2. 保険外診療収入	1,246	1,381	110.8%	1,753
3. その他の医業収入	250	214	85.6%	58
II 変動費	5,051	5,306	105.0%	14,006
1. 医薬品・診療材料費	3,268	3,356	102.7%	8,385
2. 検査委託費	1,783	1,950	109.4%	5,621
III 限界利益	72,278	72,831	100.8%	160,518
IV 医業費用	34,593	36,037	104.2%	71,277
1. 人件費	19,987	20,494	102.5%	40,464
2. その他固定費	14,606	15,543	106.4%	30,813
減価償却費	3,575	3,476	97.2%	7,477
地代・家賃	6,673	6,498	97.4%	8,567
研究研修費	186	142	76.3%	135
保険料	1,994	1,835	92.0%	3,968
接待交際費	740	680	91.9%	1,186
その他経費	1,438	2,912	202.5%	9,480
V 医業利益	37,685	36,794	97.6%	89,241

(7)眼科診療所

眼科診療所は増収増益を示し、医業収入は151,795千円で、前年対比0.2%の増加となっています。変動費は同0.9%の増加、医業費用は同1.7%の減少となりました。結果として医業利益は53,626千円で同2.1%の増加となりました。

なお、母数15件による役員報酬は、2021年平均で45,708千円となっています。

■2021年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2020年	2021年		
		眼科全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	151,545	151,795	100.2%	282,935
1. 保険診療収入	147,775	149,524	101.2%	276,714
2. 保険外診療収入	3,408	1,926	56.5%	6,124
3. その他の医業収入	362	345	95.3%	97
II 変動費	31,517	31,812	100.9%	80,881
1. 医薬品・診療材料費	30,388	30,657	100.9%	79,527
2. 検査委託費	1,129	1,155	102.3%	1,354
III 限界利益	120,028	119,983	100.0%	202,054
IV 医業費用	67,506	66,357	98.3%	112,187
1. 人件費	33,920	35,070	103.4%	50,874
2. その他固定費	33,586	31,287	93.2%	61,313
減価償却費	10,014	9,226	92.1%	10,937
地代・家賃	9,368	9,362	99.9%	18,987
研究研修費	509	476	93.5%	1,987
保険料	3,208	3,191	99.5%	5,011
接待交際費	1,185	949	80.1%	593
その他経費	9,302	8,083	86.9%	23,798
V 医業利益	52,522	53,626	102.1%	89,867

(8)産婦人科診療所

産婦人科診療所は増収増益を示し、医業収入は269,531千円で、前年対比6.4%の増加となっています。変動費は同8.1%の増加、医業費用は同2.5%の減少となりました。結果として医業利益は68,856千円で同24.4%の増加となりました。

なお、母数3件による役員報酬は、2021年平均で33,282千円となっています。

■2021年 比較要約変動損益計算書

(単位：千円)

	2020年	2021年		
		産婦人科全体	前年対比	上位20%
I 医業収入	253,413	269,531	106.4%	598,759
1. 保険診療収入	130,365	139,041	106.7%	289,355
2. 保険外診療収入	120,653	127,598	105.8%	309,404
3. その他の医業収入	2,395	2,892	120.8%	0
II 変動費	71,377	77,181	108.1%	151,132
1. 医薬品・診療材料費	59,534	64,653	108.6%	132,909
2. 検査委託費	11,843	12,528	105.8%	18,223
III 限界利益	182,036	192,350	105.7%	447,627
IV 医業費用	126,694	123,494	97.5%	297,578
1. 人件費	67,690	67,078	99.1%	178,049
2. その他固定費	59,004	56,416	95.6%	119,529
減価償却費	13,977	15,183	108.6%	33,194
地代・家賃	3,024	3,220	106.5%	1,574
研究研修費	563	482	85.6%	733
保険料	4,209	4,349	103.3%	5,092
接待交際費	3,094	2,481	80.2%	3,701
その他経費	34,137	30,701	89.9%	75,235
V 医業利益	55,342	68,856	124.4%	150,049

4 | 2021年 医療法人経営指標分析結果

1 | 2021年医療法人経営指標分析結果

本章では、医療法人立無床診療所の198件を対象として、貸借対照表の数値を抽出し、経営指標を算出しました。

分析は、収益性、生産性、安全性、成長性の4つの視点で行っています。

■2021年 比較貸借対照表 医療法人立無床診療所平均

(単位：千円)

資産の部			負債の部		
	2020年	2021年		2020年	2021年
【流動資産】	68,270	75,492	【流動負債】	14,803	15,633
現金・預金	44,127	51,732	買掛金	3,581	4,016
医業未収金	17,124	19,066	その他	11,222	11,617
その他	7,019	4,694	【固定負債】	28,763	33,206
【固定資産】	62,909	64,027	長期借入金	20,655	25,867
【有形固定資産】	23,854	23,325	その他	8,108	7,339
医療用機器備品	2,440	2,367			
工具器具備品	2,914	2,820	負債合計	43,566	48,839
その他	18,500	18,138			
【無形固定資産】	5,673	6,353	純資産の部		
ソフトウェア	366	461		2020年	2021年
その他	5,307	5,892	【出資金】	7,484	7,483
【その他の資産】	33,382	34,349	【利益剰余金等】	80,129	83,197
保険積立金	26,695	26,311			
その他	6,687	8,038	資本合計	87,613	90,680
資産合計	131,179	139,519	負債・純資産合計	131,179	139,519

(注) 当期純利益は法人税等控除後の数値としています。

経営分析に必要となる主要損益数値は次のとおりです。なお職員数については平均値を算出し、8名で計算しています。

■2021年比較損益計算書 医療法人立無床診療所平均 (単位：千円)

	2020年	2021年	前年対比
医業収入計	131,817	133,072	101.0%
限界利益	106,332	106,927	100.6%
職員給与費計	70,651	69,409	98.2%
医業利益	2,196	4,705	214.3%
経常利益	2,413	9,171	380.1%

2 | 収益性分析 前年対比

		2020年	2021年	増減
収益性	総資本経常利益率	1.8%	6.6%	4.7%
	医業収入医業利益率	1.7%	3.5%	1.9%
	医業収入経常利益率	1.8%	6.9%	5.1%
	総資本回転率	1.0回	1.0回	—

■指標計算式

指標名	目的	計算式
総資本経常利益率	資本を使ってどれだけ効率的に利益を上げたかを見る指標	経常利益 ÷ 総資本 × 100
医業収入医業利益率	医業活動における利益を医業収入で除した指標	医業利益 ÷ 医業収入 × 100
医業収入経常利益率	医業利益に医業外損益を加えた経常利益を医業収入で除したもの	経常利益 ÷ 医業収入 × 100
総資本回転率	資本の何倍の医業収入があるかを見る指標	医業収入 ÷ 総資本

■収益性分析コメント

●総資本経常利益率

2021年の実績は6.6%で、前年より4.7%増加しています。

●医業収入医業利益率・医業収入経常利益率

2021年の医業収入医業利益率は3.5%で前年対比1.9%の増加となりました。医業収入経常利益率より3.2%低い数値となっています。

●総資本回転率

総資本回転率は前年実績とほぼ同水準であり、回転率に大きな変化はありませんでした。

3 | 生産性分析 前年対比

		2020年	2021年	増減
生産性	限界利益率	80.7%	80.4%	▲0.3%
	1人当たり医業収入/月（千円）	1,373	1,386	13
	1人当たり限界利益/月（千円）	1,108	1,114	6
	1人当たり人件費/月（千円）	736	723	▲13
	労働分配率	66.4%	64.9%	▲1.5%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
限界利益率	医業収入から変動費を控除した限界利益の医業収入に対する比率	$\text{限界利益} \div \text{医業収入} \times 100$
一人当たり医業収入	一人当たりの医業収入の効率を見る	$(\text{医業収入} \div \text{職員数}) \div 12\text{ヶ月}$
一人当たり限界利益	一人当たりの限界利益創出力を見る指標、労働生産性ともいう	$(\text{限界利益} \div \text{職員数}) \div 12\text{ヶ月}$
一人当たり人件費	一人当たりの総額人件費（社会保険料等の事業所負担も含めたもの）を見る	$(\text{総額人件費} \div \text{職員数}) \div 12\text{ヶ月}$
労働分配率	限界利益に占める人件費の割合を見る	$\text{総額人件費} \div \text{限界利益} \times 100$

■生産性分析コメント

●限界利益率

前年よりも0.3%の減少で、医業収入よりも変動費の伸び率の方が上回っている状況です。

●一人当たり医業収入・一人当たり限界利益

一人当たり医業収入、一人当たり限界利益は前年とほぼ横ばいとなっています。

●一人当たり人件費

一人当たり人件費は723千円で、前年と変わらない結果となりました。

●労働分配率

労働分配率は、前年66.4%に対し2021年は64.9%で、1.5%減少しています。医業収入・人件費共に昨年とほぼ横ばいになっているため、あまり変動がありませんでした。

4 | 安全性分析 前年対比

		2020年	2021年	増減
安全性	流動比率	461.2%	482.9%	21.7%
	当座比率	413.8%	452.9%	39.1%
	固定比率	71.8%	70.6%	▲1.2%
	固定長期適合率	54.1%	51.7%	▲2.4%
	自己資本比率	66.8%	65.0%	▲1.8%

■指標計算式

指標名	目的	計算式
流動比率	短期的な債務返済能力を見る	$\text{流動資産} \div \text{流動負債} \times 100$
当座比率	流動資産の中で特に換金性の高い当座資産による短期返済能力を見る	$\text{当座資産} \div \text{流動負債} \times 100$
固定比率	固定資産が自己資本でどれだけ調達できているかを見る	$\text{固定資産} \div \text{自己資本} \times 100$
固定長期適合率	固定資産が自己資本と固定負債でどれだけ調達できているかを見る	$\text{固定資産} \div (\text{自己資本} + \text{固定負債}) \times 100$
自己資本比率	総資産に占める自己資本(純資産)の割合を見る	$\text{自己資本} \div \text{総資産} \times 100$

■安全性分析コメント

●流動比率・当座比率

流動比率は前年対比21.7%の増加で、482.9%と短期的な債務返済能力は高いといえます。当座比率も同39.1%増加し、452.9%となっています。これは、コロナ禍において、不測の事態に対応できるよう、長期借入金などを利用して現金・預金をいつもより多く準備していたことが考えられます。

●固定比率

前年対比1.2%の減少となっています。固定資産合計は増加していますが、利益剰余金等がさらに大きく増加したことが一つの要因と考えられます。

●固定長期適合率

前年対比3.2%の減少となっています。長期借入金が増加しましたが、利益剰余金等も同時に増加したことが一つの要因と考えられます。

●自己資本比率

前年対比1.8%減少し、65.0%となっています。利益剰余金等も増加しておりますが、流動負債、固定負債がどちらも増加していることが自己資本比率の減少につながっています。

5 | 成長性分析 前年対比

		2020年	2021年
成長性	医業収入増加率	▲4.1%	1.0%
	限界利益増加率	▲4.9%	0.6%
	医業利益増加率	▲82.3%	114.3%
	経常利益増加率	▲64.3%	280.1%
	自己資本増加率	2.4%	3.5%

■成長性分析コメント

経常利益が特に増加し、本業での儲けを表す医業利益も増加しています。また、医業収入はほぼ横ばいとなりました。2020年度はコロナ渦ということもあり、患者の受診控えが病院の収支に多大な影響を与えました。2021年度はまだコロナ渦ではあるものの、受診控えが落ち着いて少しずつ利益が出る診療所が増えてきたと考えられます。

※本文中、各表の金額は表示単位未満を四捨五入しており、端数処理の関係上合計が一致しない場合があります。